

次に、まちづくりには、積極的な子どもたちの参加が極めて重要であると考えており、具体的に参加できる形態について、行政としても検討したいと考えています。

特に、中心市街地の賑わいづくりのために、まちづくりセンターの運営についても、彼らのアイデアを積極的に提案してもらい、大人はしっかり耳を傾け、そして一緒に実現できるように行動し、お互いが達成感を得られるような進め方になるように、まちづくりセンター運営協議会の中でも協議を行っていきたいと考えています

## 全国学力・学習状況調査の結果について

篠原議員 学校が5日制になり、ゆとり教育で学習内容が3割削減されたことなど、近年は学力低下が問題視され、文部科学省は43年ぶりに全国学力・学習状況調査を実施しました。その結果をどのように考えているか伺います。

## 分析し、指導につなげている

教育長 この調査については、全国的な義務教育の機会均等、その水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握、分析することにより教育施策の効果と課題を検証し、その改善を図るということを目的として実施しています。結果については、町内の児童・生徒の全国、全道との学力の比較や弱い部分、あるいは質問調査による家庭での状況が把握できます。その結果を各学校で分析し、改善策や今後の対応を各学校長から提出を受けており、学力向上と日常生活の指導につなげているところです。



## Q ミレニアム記念の森について

### A 今後も町で維持管理をしていく



当初何年かは、多くの町民が植樹、草刈り等を行っていましたが、その後委託事業に移行され、実行委員会での議論経過が生かされていないが、この事業を今後どのように進めていくのか伺います。

村田議員 この事業は、20世紀から21世紀への架け橋となる節目の記念事業としてスタートし、愛林のまち、木のまちとして2千年という時代に生きたあかしと後世に残る森を町民とのかかわりの中でつくる、そしてふるさと津別

町長 ミレニアム記念の森をつくろう実行委員会が平成12年10月に結成され、上里町有地に2年間で1千480本が町民約50人によって植樹されています。

その後、毎年草刈りを町民の参加のもと進めてきました



がいつまでも自然豊かな森林で囲まれ輝き続けていくように各団体と一般公募で実行委員会が構成されました。取り組みに際し、町民が森づくりにかかわり、町民の癒しの場にするために公園をつくって4年程度整備し、最終的には15年かかると見通し、実行委員会の継続と町民参加で進めていくことを確認しました。

が、実行委員会の構成団体が一部解散したことや、委員が転出したことから、平成17年に町民参加による草刈りを行った後、7月に初期の目的を果たしたのではないかとということで実行委員会を解散しています。解散後の管理は、町が補植、草刈り、防虫作業を行い現在に至っています。

当時公園化などさまざまな取り組みも計画されていましたが、平成16年に交付税が大幅に削減をされ、ここに投資することが非常に難しくなりました。今後も維持管理は行っていききたいと思えます。

## 町道3号線（豊永）の歩道整備を

村田議員 町道3号線は毎年合宿に訪れるラグビー、サッカー選手が、宿泊施設と競



技場までの通い道として利用されており、また町民もウォーキングをしていることから安全に歩行できる環境をつくらなければならないの思いが強くなりますので、歩道の新設をすべきでないか。

## 町道3号線の歩道は難しい

**町長** ラグビー場・サッカー場周辺の町道3号線に歩道を整備するに当たり、今回と同様な意見もありましたが、歩道は主に生活に必要とするものとし設置には至っていません。

歩道の新設となれば、水路の保全を配慮した工法が必要となり延長560メートルで1億1千万円必要です。昨年のまちづくり懇談会において未舗装路線の整備計画を示しており、町道3号線の歩道に1億1千万円をかけると未舗装路線の整備計画を遅らせることになり、新設については非常に厳しい状況にあります。

## Q パークゴルフ場の管理をより適切に改善すべき

### A 町、協会、公社の三者連携で適切管理に努めたい



- ①グリーン等の芝枯れ防止策と補植芝の対応はどのようになっているか。
- ②管理作業は振興公社に委託していますが、作業の指示をどのように行っているのか。
- ③整備に当たり協会とより連携を深めるべきでないか。

**谷川議員** パークゴルフ場は、協会と連携して最近改善されつつありますが、町内外の利用者を増やすためプレーヤーの立場に立って、より良い改善に努められたい。

#### 教育長

- ①芝枯れは補植し融雪剤、追肥、芝刈り、散水等適切な管理作業に留意している。
- ②公社には適切な管理を指示していきたい。
- ③グリーン、フェアウェイ、ラフの芝刈りやカップの移動について協会とも協議し、プレーヤー重視の観点で今後とも整備に努めたい。

て暮らせるまちづくり」の施策にのっとり、定住人口の増や人口維持のため、年次計画で旭町等に町営住宅が逐次整備されるが、入居決定は町民の生活上、特に大きなことであることから、選考は透明性を計るため抽選とすべきではないか。

## 住宅困窮度により選考している

**町長** 入居選考は町条例や公営住宅法等に基づき公平公正に行っており、住宅困窮度判定が難しい場合は公開抽選により行う方法となっております。

町外流出の原因は、入居決定の仕方より町内に良質な住宅が少ないことが基本的な原因と思われ、今後計画的に住宅を整備していきたい。

## 町営住宅の入居者選考を改善すべきでないか

**谷川議員** 本年以降、「歩

### 町村議会議員研修会

7月1日、札幌市で道町村議会議員会長主催による研修会が開催されました。研修会では、経済産業研究所上席研究員 山下一仁氏が「農業ビックバンの経済学―グローバル化と人口減少時代の農政改革―」と題し、今後における農政改革の必要性について講演。

また、白鷗大学教授の福岡政行氏が、参議院議員選挙の前ということで「政局展望」と題し、選挙の情勢について先生の独自の視点から分析し今後の展望について講演されました。

